



Second Step

TWST Unofficial Fan Book.
Leona x Ruggie
Presents By TSUMEATO.

R18
— FOR —
ADULT
ONLY

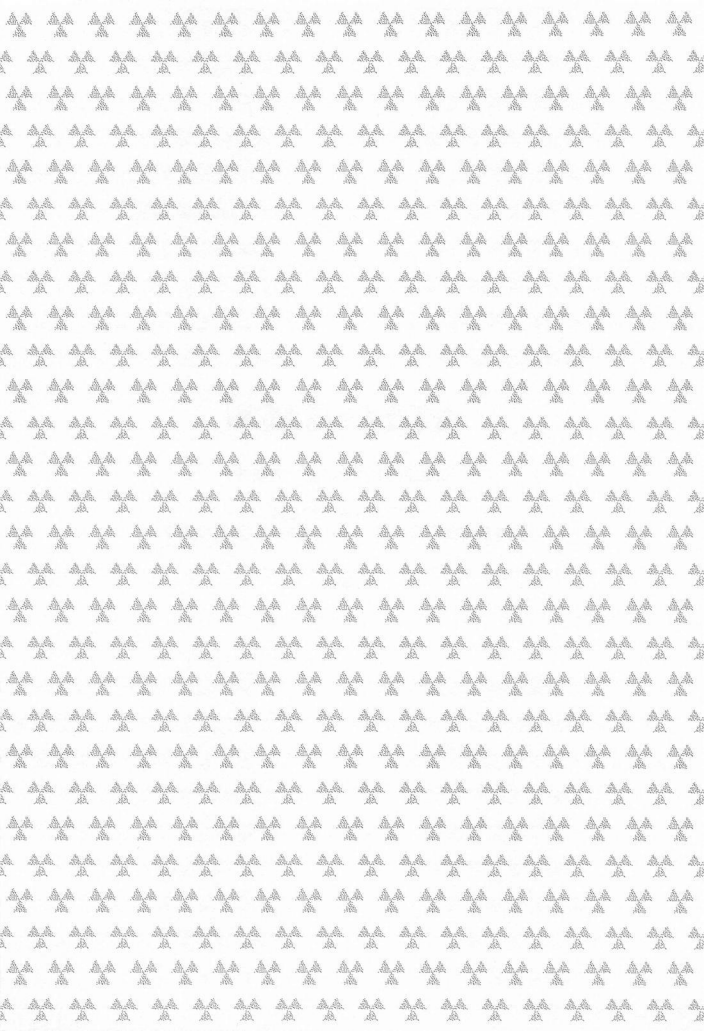


ATTENTION

6章後の時間軸で描いています。

この本は成人向です。
18歳未満の方の購入・購読を禁止しております。







ラギー
俺が戻るまで
サバナクローは
お前に預ける

うまくやれ



……まア

戻ってこれるか
どうかは
わからないがな



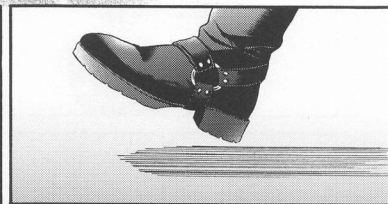
そう言い残して
いなくなったレオナさんが

帰ってきた時

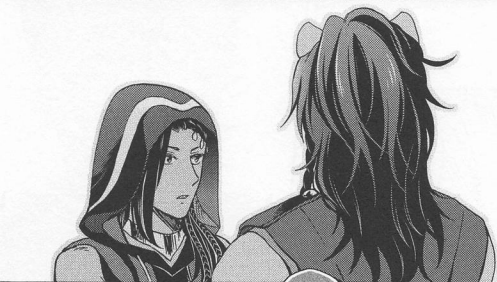
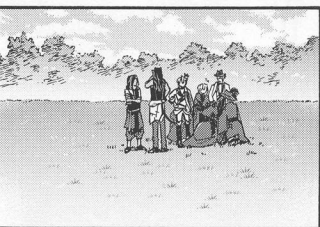




足が勝手に
動いてた

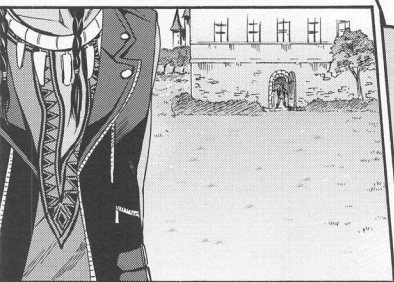


早く
早く……!



帰ってきたんだ…

レオナさーん!!



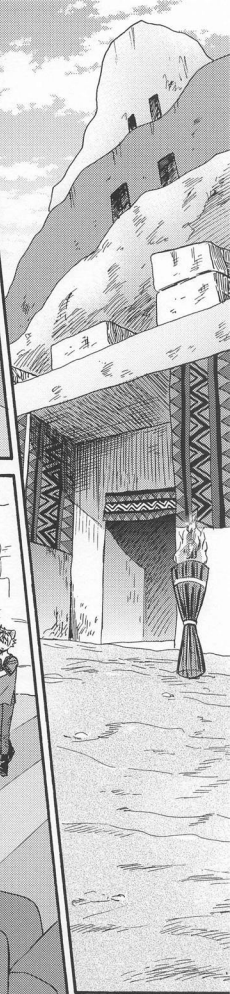
そのとき





自分でも吃驚するくらい
安堵したのを覚えてる







はあ~~~~



ああそっか？
寮長会議か？



すげーレオナさんの
匂いがする…

さっきまで
このベッドで
寝てたんだろうな



ちゃんと

つと…



帰ってきたんだ



えっ!?

悪い

俺明日から
隣町で仕事



そんじゃ

また明日な



そう言ってそれつきり

そいつは帰ってこなかった

死んだのか

隣の町で暮らす
ことにしたのか

誰も
知らなかったし

オレが気にしたって仕方ない

聞いても無駄なことは
分かっていた

人は簡単に
いなくなることに

簡単に死ぬことに

オレはその時から
嫌ってほど分かってた

諦めることに
慣れすぎていたんだ



だから

レオナさんなら絶対
帰ってくるっていう
気持ちの片隅で

もしかしたら

本当にもう
レオナさんは帰って
こないのかもしれないって





主のいなくなった
空っぽの部屋を見て
思ってた



もしあのまま
レオナさんが
帰ってこなかったら

それでもオレは
仕方がないって
思えたかな…？

それとも……



ラギー
起きろ

ズ
ズ……
ズ……



ん……

ギー……









いやあ

これは…
そのお…

ラギィ…

随分と良い
ご身分だなア



ボスがいない間に
ボスのベッドを
勝手に使って

呑気に居眠り
こいてた
だけって事か



うっかり
レオナさんの匂いに
安心して寝ちゃった

なんて
言えねええ
えええええ



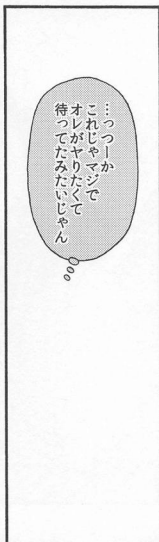
オレ
帰ります

…すみません

あア?



かあ、



…つついか
これじゃマジで
オレがやりたくて
待ってみたいじゃん







恥ず……

絶対バレてるじゃん…





そんなに溜まってたのか？



くっく

早いな



うっ



どっかの誰かさんねえ？



お前がそうなら俺だつてそうだろう？



しっ…仕方ないでしょ

どっかの誰かさんのせいでここ最近忙しかったし

ご無沙汰だったんすから…



やだなあ


ほんと

こんな気持ちに
なるって
分かってたから

ずっと
諦めてたのに

失うことなんて
当たり前だって





諦めたフリを
してたのに



…なんだよ



ギ
ヤッ



はあ

はあ



シ

オレ…



ちよつと
怖かったのかも…



レオナさんが
帰ってこな
かったらつて…



ハッ

散々俺は
帰ってくるつて
思ってたつて
言ってたくせに
本当は俺が帰って
こないかもつて
思ってたのか？

信じてましたよ!?
信じてましたけど!!



くっはは

レオナさんが
悪いんすよ
ハハ

レオナさんが
あんなこと
言うから
ハハ



でも…

げんやう



ムカつく~~~~~

可愛いとこ
あるじゃねえか

居るだろ

ムカつく

帰ってきただろ

「帰ってくる」と
信じてたっけより

帰ってきて
ほしかったんだ



ああ
そうか

オレは

此処に

擦ったゴマが
無駄にならなくて
良かったなア?

はいはい
安心しましたよ!

もー!!!
これからもういっぱい
擦らせてもらいます
からね!

安心したか?



ニヤニヤ
ハニヤニヤ

だから
もう二度と

「戻ってこれるか
どうかはわからない」
なんて言わないで
ください

…それと

やっぱり
サバナクローのボスは
アンタじゃなきゃ

シシシッ

おかえりなさい
レオナさん

一番最初に出した同人誌「ファーストステップ」からステップアップしたのが今回のお話でしたので
タイトルは「セカンドステップ」になりました。

今まで生きてきた環境故に人の生死に関しては諦めることが出来た(というか諦めざるをえなかった)ラギーが
レオナだけは諦めきれない…かもしれない…と自分の気持ちに気付くお話でした。
まだ本人はラブを自覚してない段階なんですけど、今まで諦める事が出来た事が
諦められなかった時点でそれはもうラブでは?というね???
ステップアップシリーズは本編の合間で考えてるお話なので
ラブを自覚出来るかどうか(サードステップ?ファイナルステップ?)はまた本編が進み次第妄想の余地があれば描きたいな〜と
本編、1年以上眠りっぱなしなのでそろそろ起きてくれるかな…?笑

それとこれとは別で次の本はお待たせしてしまっている典編の完結本を予定しています。
あとなんだかんだ言ってエロ分強強の本が出てないでエロ強めの本も出せたら良いな。



セカンドステップ

2024.05.05

発行: ツメアト(暗間チーズ)

印刷: ONEDAY様

Mail: nil@xa.holy.jp

Pixiv: id=745468

X(旧Twitter): @kura83oniku



※公式とは一切関係ありません。

※ネットオークションへの出品、無断連載、webにアップロード等の行為は絶対にやめて下さい。
webにアップロードされているものをダウンロードし、公開する事もやめて下さい。

セカンドステップ

2024.03.17

TWST Unofficial Fan Book.

Leona x Ruggie

Presents By TSUMEATO.

